

【具体的データ】

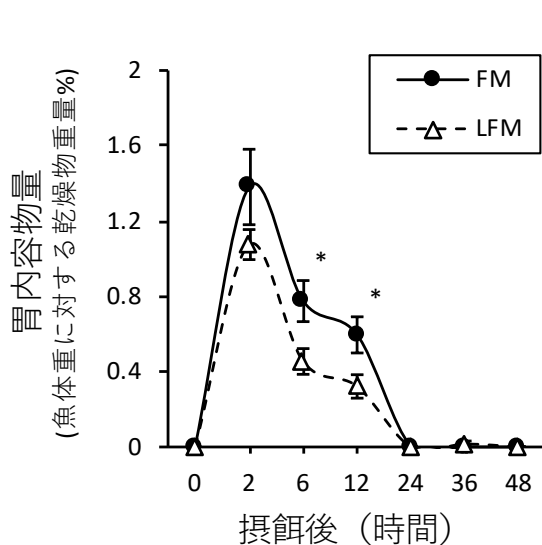


図1. 胃内容物の消失時間.

LFM給餌魚の胃内容物消失時間はFM給餌魚よりも早く、胃で十分な消化が行われる前に腸管へと移行することが示唆された。

* 有意差有り ($p < 0.05$)

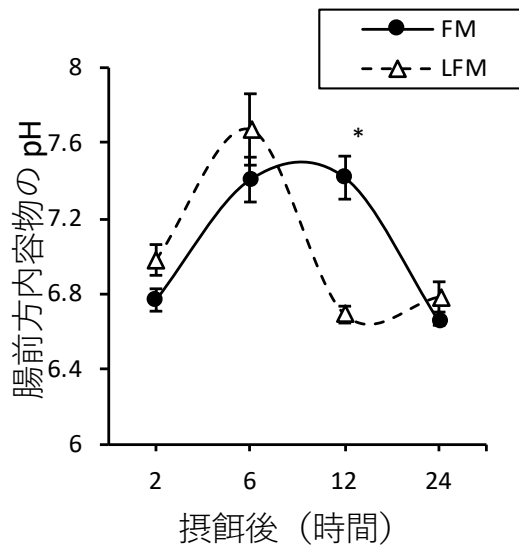


図2. 腸前方内容物のpH.

LFM給餌魚の腸内容物のpHはFM給餌魚よりも低く、消化酵素が十分に働いていないことが示唆された。

* 有意差有り ($p < 0.05$)

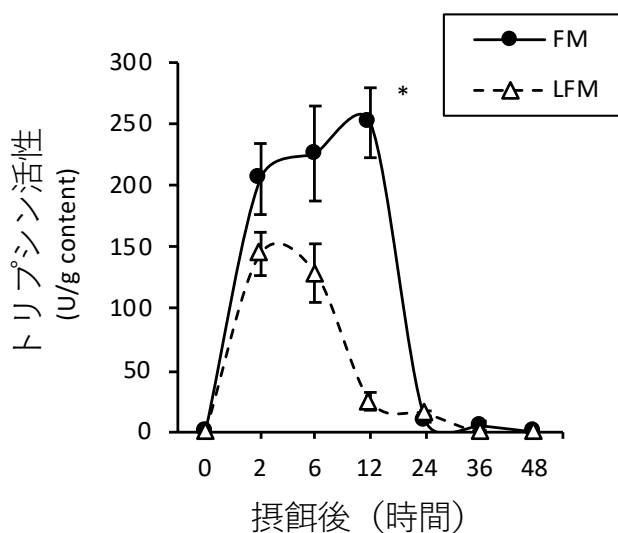


図3. 腸内容物中のトリプシン活性.

LFM給餌魚の腸内容物中のトリプシン活性はFM給餌魚よりも低く、消化酵素が十分な量分泌されていないことが明らかになった。

* 有意差有り ($p < 0.05$)

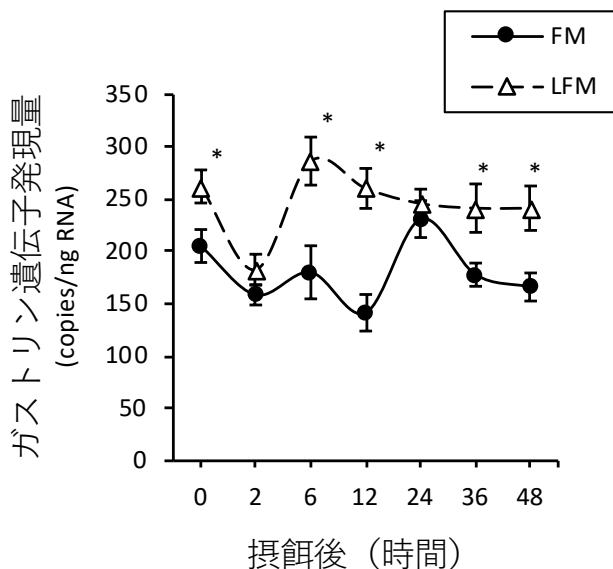


図4. ガストリン遺伝子発現量.

胃酸分泌ホルモンとして知られるガストリンの遺伝子発現量はFM給餌魚よりもLFM給餌魚で高かった。胃酸過多が腸管での低pHの原因になったと示唆された。

* 有意差有り ($p < 0.05$)